

# 平成30年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	海田町立海田南小学校
-----	------------

## 1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

- 生活調べの結果で、朝食は摂取しているが、3色そろったバランスの良い朝食をとっている児童は67%だった。また、野菜を朝食に食べる児童の割合は73%で、目標の80%に届いていない。
- 食に関する全体計画では、栄養教諭と連携する指導が、各学年1回以上位置付けられているが、担任だけで行っている場合もあり、連携を深める必要がある。また、指導内容については、食に関する知識を一方的に伝えることが多く、児童がもっと主体的に学べる工夫を行う必要がある。
- 正しいはしの持ち方で食べている児童が少ない。

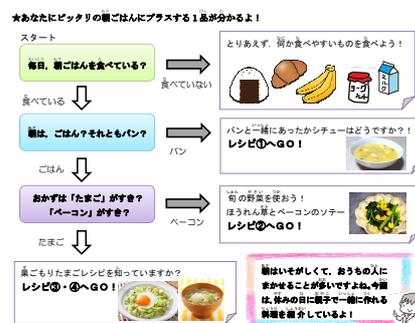
## 2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

- 生活調べにおける、野菜を朝食に食べる児童の割合80%以上を目標とする。
- 食に関する指導方法を工夫し、各学年で実施する。
- 正しいはしの持ち方を意識している児童の割合を高める。

## 3 食育の目標に対する具体的な取組

### 【取組1】（テーマ） 野菜を使った朝ごはんレシピの配布と食に関する指導

生活調べ（年3回）の実施時期に合わせて、野菜を使った朝ごはんレシピを2回配布した。1つはチャート式の朝ごはん自己診断表を掲載し、診断結果に合わせたおすすめ野菜レシピを紹介した。また、2回目は節分行事に合わせた「大豆製品」と野菜を活用したレシピを紹介した。作ってみたいという意欲が高まるように、レシピはカラーで印刷し配布した。



第3学年の食に関する指導において、「バランス良い食事について考えよう」という学習を実施。赤黄緑の食べ物について、改めて学習するとともに、1回1回の食事にきちんと3つの色がそろうことが重要だと気付ける教材を活用した。児童が考えて、課題に気付けるよう、担任と発問の工夫を行った。児童の振り返りには、「家族に伝えたい」「出されたものを残さず食べたい」という食事に対する意識の変化が見られた。



### 【取組2】（テーマ） 食に関する指導方法の工夫

第2学年「野菜のパワーを探ろう」という特別活動の指導において、担任教員等と教材研究を行い、児童が主体的に学べる指導の工夫を行った。今までは、紙芝居を見た後、一方的に栄養教諭から野菜のパワーを4つ

紹介し、350gの実物の野菜を見せて、振り返りを書く流れだった。

改善後は事前に、「もし、バイキングに行ったらどんな料理を選ぶか」というアンケートをとり、児童が自分で課題を見つけ、次はどうしたら良いか、どうしてそのように変えたのかを、振り返られるように工夫した。野菜のパワーも、流行前の予防として「風邪予防」だけに焦点を当て、風邪予防に効果的な「色の濃い野菜」と「色のうすい野菜」の仲間分けについても、たくさんの意見を出し合い、深く学ぶことができた。

同じ内容の指導でも、1時間の指導で、児童の変容がみられ、自分で課題を発見できる指導を行うことができた。また、教材を精選することで、児童がじっくり集中して考えられることが分かった。

### 【取組3】(テーマ) はしの正しいもち方を意識しよう

食器を持って食べることは、給食放送を通して呼びかけることで改善がみられたが、はしの持ち方については、意識してできている児童が少ないのが課題であった。

そこで食育担当の職員と連携し、朝会で正しいはしの持ち方クイズや正しく持つ方法を給食委員会が発表する場を用意した。その後、はしのマナーコーナーを設置し、豆つかみや正しい持ち方の模型を展示した。給食時間中に担任が指導できるように、全クラスに指導資料の配布も行った。



## 4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

本校は今年度、第5学年の女子児童が考えた「野菜ごろごろおと姫トマトソース」が優秀レシピ賞を頂いた。このことを、全校に知らせ、プロジェクト参加への意欲を盛り上げる取組を行った。まず、給食委員会を通して直接インタビューを行い、考えるきっかけや、大変だったこと、他にアレンジしたいメニューなどを聞きとった。その内容を、給食だよりや放送で知らせることで、5つのレシピの中でも特に作ってみたい、食べてみたいと思ってもらえるよう工夫した。食数を集計すると、本児童と同じ第5学年では、「食べた人数」「作った人数」とともに、おと姫トマトソースが一番多いという結果となり、関心が高まったことが伺えた。

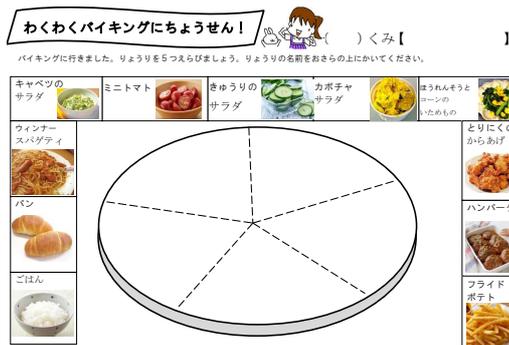


考案者をイラストで紹介しました。

## 5 取組に対する成果と課題

### 【成果】

○生活調べの結果において、野菜を朝食に食べる児童・3色そろった朝食をとっている児童の割合が増加した。特に、生活調べ前にバランスの良い食事について学習した3学年において、増加が見られた。



全校児童	第1回	第2回	第3回
野菜を朝食に食べる	76.7%	77.9%	78.1%
3色そろった朝食	71.4%	72.2%	72.4%

3学年児童	第1回	第2回	第3回
野菜を朝食に食べる	76.8%	78.9%	79.4%
3色そろった朝食	71.0%	72.6%	76.1%

○第1学年，第2学年，第3学年において担任教諭等と連携，指導案の見直しを行い食に関する指導を実践できた。第6学年では，家庭科専科と連携し，給食の献立を作成，代表決定，実際の給食を全校児童で味わうことができた。

また，これらの指導内容を「食育通信 こんな学習したよ」にまとめ，各家庭へ伝えた。

### 【課題】

- 野菜レシピを配布したが，そのレシピの活用度合を調査できていない。
- 生活調べの数値は増加したが，目標の80%に達していない。
- 学級活動以外の教科等において，担任と栄養教諭との食に関する指導の連携が不足している。
- 正しいはしの持ち方は分かるようになったが，普段の食事で活用できている児童が少ない。

## 6 今後の取組に向けた改善方策について

- 生活調べに合わせた，野菜レシピの配布だけでなく，作り方教室やアンケートを行い，資料の活用具合を検討する。引き続き，朝食のレベルアップを図る手立てを食育担当・養護教諭と連携して考案する。
- 食に関する指導についてもカリキュラム・マネジメントを行い，担当学年と連携をとる。
- はしのもち方については，委員会活動や担任教諭と連携して取組を進める。